

4年間予算執行0円、それでもカジノの旗は降ろさないのか!?



カジノに反対する大阪連絡会のポスター

実は毎年、予算付けはしていますが、お金を使ったのは5年前が最後。そのあとは一円も使つてないのです。

担当課は、「予算を使つていなくても困つたことはない」と言つています。

カジノの予算を使わないことはよいことですが、使う必要もないなら、カジノ誘致から全面撤退すべきです。使う予定も立たないカジノ予算を毎年計上する予算をつくるべきではありません。

共産党が市政の大問題と考えているのが、阿寒湖へのカジノ誘致の方針です。カジノ誘致の可能性はしぼみましたが、市

は毎年カジノ誘致の予算を統合型リゾート構想推進事業費を予算に盛り込んでいます。

決算額0が連續

カジノモデルは破綻

全国では、次々、カジノから撤退。残ったのは大阪と長崎県だけです。

北海道も、結局、候補地を国に申請することを断念しました。

苫小牧との確認書

市は道内での誘致競争での敗北が濃厚になると、突然、苫小牧市とカジノ誘致を協力するという確認書を取り交わしました。北海道第一号は苫小牧で、二箇所目は釧路市にとい

う話です。この確認書は今も効力があります。であればなおのこと、阿寒湖への誘致は難しいということ。博打で観光はヤメにしましょ

市内の公園 40 か所に使用禁止の遊具が 58 個

あちこちの公園で黄色いロープを回して使用禁止している遊具があります。決算審査のなかでこの問題を取り上げました。釧路市内では今ある使用禁止の遊具は、2年ほどで取り換えているようですが、阿寒町ではさらに長い期間、使用禁止になっている遊具もあります。公園の維持管理費を増やして、一日でも早く修繕することが必要です。



(現時点で使用禁止になっている遊具の一部)
●阿寒中央公園の複合遊具 ●鳥取 10 号公園のザイルクライミング ●鳥取 11 号公園のグローブジャングル ●鳥取 13 号公園の滑り台 ●鳥取 3 号公園の滑り台 ●新富士 2 号公園の滑り台 ●大楽毛 2 号公園のスプリング遊具 ●大楽毛 5 号公園のチアブランコ、ブランコ、滑り台、鉄棒 ●大楽毛 6 号公園のスプリング遊具 3 個など